

くまむら農業・最適化推進運動

農委会名：球磨村農業委員会

1 地域の概要

本村は、熊本県の南部に位置し、村の面積の約88%が山林で、中央を日本三大急流の1つである球磨川が貫流している。その球磨川の支流には、多彩な棚田が広がっており、「松谷棚田」「鬼ノ口棚田」は「日本の棚田100選」にも選ばれている。

また、毎床地区で作られている「一勝地梨」は2012年に植栽されて100年を迎えた村の特産品として各地に出荷されている。

令和2年7月の豪雨被害に伴う復旧復興事業として、遊水地計画内の農業者で、今後も営農を継続希望されている方々の代替地の整備が完了し、耕作出来るようになった。

2 農業委員会の体制

- (1) 農業委員数6人（うち認定4人）
- (2) 推進委員数6人（うち女性2人）
- (3) 務局体制3人（うち専任2人、事務補助1人）

3 掲げた目標とその達成に向けた取り組みの内容

- (1) 地域計画区域（渡・一勝地・三ヶ浦・神瀬）の集落説明会及び目標地図作成
- (2) 復興事業に係る代替地整備における集約・集積
- (3) 非農地判断及び過去に実施して地目変更登記未了分の職権による地目変更登記
【登記予定筆数及び面積】 255筆 11ha

4 目標達成に向けた取組み（運動）の内容

- (1) 地域計画区域（渡・一勝地・三ヶ浦・神瀬）の集落説明会及び目標地図作成

本村では、中山間地域等直接支払制度と多面的機能支払制度の補助金を活用して活動している9集落に出向いて、集落説明会を実施し、今後の耕作者について現況地図を見ながら確認を行った。



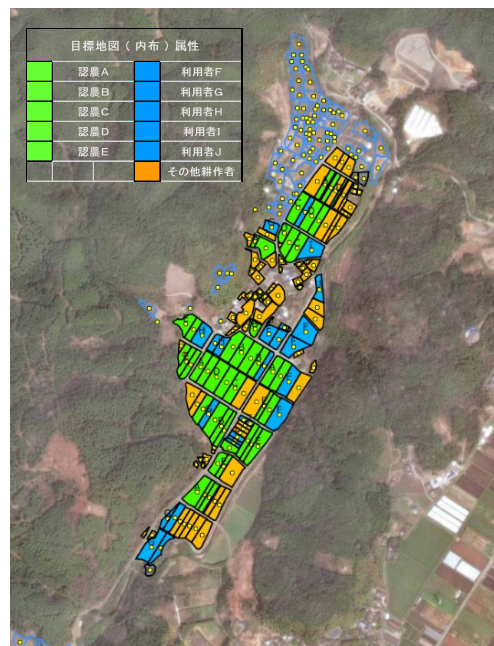
(説明会の様子)

(別紙様式①)

- (2) 土地所有者13名に対して、耕作希望者5名についてマッチングを行い、相続登記未了の所有者が数名いることから、まずは賃貸での契約を行い、相続登記完了後は農業公社の売買特例事業を活用して所有権移転登記を行う。
- (3) 災害等により復旧の見通しが立たない農地の非農地判断をするとともに、過去に非農地判断した分で地目変更登記がなされていない分について、所有者に再度確認し実施した。

5 取り組みの成果

- (1) 10月に9集落で97名に参加していただき、今後の意向について確認することができた。また、サポートシステムにより目標地図を作成した(作成総数27枚)。



(作成した目標地図(素案))

- (2) 地権者13名、筆数37筆。対象面積1.5haについて、耕作者5名、5筆に集約し、計24契約により1.5haの集積ができた。



(復旧前)



(復旧後)

(別紙様式①)

(3) 非農地判断及び過去に実施した地目変更登記未了分の職権による地目変更登記

- | | | | |
|---------------|-----|------|-------|
| ① 非農地判断 | 6件 | 14筆 | 0.5ha |
| ② 職権による地目変更登記 | 68件 | 224筆 | 9.8ha |

6 課題と今後の方針等

残された活用できる農地を減らさぬよう、今後も農業委員・農地用最適化推進委員全員で取り組み、農地集積・集約化に努めたい。併せて、意向調査を実施し、結果を目標地図に反映し更新していく。

また、農地中間管理機構とも連携して事業を推進し、集積・集約化に努める。今後も、耕作放棄地の防止及び解消に向け、景観美化活動も引き続き行っていく。